



第 42 回例会報告 (5月26日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	53名	・出席数	39名	・欠席数	14名
・当日出席率	84.78%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員>阿部、檜垣(俊)、平田、板脇、眞鍋、松本、岡本、竹田、矢野

[免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、宮本、白石、越智

<5/12 欠席補填>(5/14 地区大会) 平尾、河野、桑森、眞鍋、八木 (5/24 今治南) 原、平田、木村、小堀、森岡、岡本、田中、竹田

◇**会長報告**・伊予銀行今治支店さん、支店長の森岡会員、そして毎年お世話をしてくださる松木会員、本日はお世話になります。飯忠悟パストガバナーや会員のご家族、今治北 RC の皆さん、ソロプチミストの方々をはじめ大勢のご来場、本当にありがとうございます。マリンバの響きを心ゆくまで堪能してください。

◇**幹事報告**・6月2日(木)は「小さな奉仕賞」表彰式でタオル体操をしますので、マフラータオルなど長めのタオルをご持参ください。

音楽例会

◆**松木徹夫会員**:音楽例会は故・高木先生が会長を務められた96-97年度に始まり、約20年が経過しました。今回は初めてとなるマリンバの演奏です。あまり聴く機会がないかも知れませんからどうか楽しんでください。

◆**duo Cosmo(デュオ コスモ)**:滋賀県の大津から長駆車でお越しいただいた西岡まり子さん、美恵子さん姉妹による打楽器デュオ。今回はマリンバを中心に演奏していただきましたが、ご本人曰く「音が出るものは他人以外何でも叩く」のだそう。マリンバは木琴の大きいものという認識でいいようで、ピアノの白鍵と黒鍵にあたる木製の音板が5オクターブ分並んでいます。今回持ち込んでいただいたマリンバは米国製ですが、日本でも福井の鯖江、東京の町田などで作られているそうです。



▼マリンバは低音部に行くほど木が薄くなり、これを保護するためと深い音を出すためにマレット(ばち)には毛糸を巻くのだそうです。逆に軽快な高い音を出す場合は何も巻かないときもあるそうで、「今日の料理のテーマ」や運動会でおなじみの「道化師のギャロップ」で実証していただきました。幼稚園や小学校の木琴のばちに毛糸が巻いてあったのはそんな理由だったんですね。

▼演奏していただいた曲目は順にベートーヴェン「6つのエコセーズ」、ロッケンカンプ「アフリカンブルース」、ベートーヴェン「なくした小銭への怒り(原題=ロンド・ア・カプリッチョ・ト長調)」、モーツァルト「トルコ行進曲」、トレヴィーノ「2+1」、バルトーク「6つの民族舞曲」。間に木の実で作った南米のシェイカー楽器・チャフチャス、横山ホットブラザーズのノコギリネタのようなフレックスアトーン、それにカウベルや木魚など、音の出る楽器を「山の音楽家」に乗せて紹介するコーナーをはさみ、拍手だけで演奏するライヒの「クラッピングミュージック(ミニマル・ミュージックと呼ばれ、決まった短いフレーズを8分音符ずつずらしていくことにより得られる音の万華鏡)」など、聴衆を飽きさせないステージでした。

▼ラストは「ふるさと」を来場者全員で合唱後、近藤正人会長が花束贈呈し、アンコールは「小さな祈り」。松木会員の弁を借りれば「音色を思い出しながらいい眠りにつきましょう」。おやすみなさい。

<ゲスト> duo Cosmo (デュオ コスモ) 西岡まり子様、西岡美恵子様

次回例会(6月2日)

【 「小さな奉仕賞」の表彰 】

<会員誕生日祝>	吉武 誠治氏 (6/2)	矢野 暢生氏 (6/5)
<結婚記念日祝>	重松 宗孝氏 (6/3)	
<入会記念日祝>	檜垣 直孝氏 (6/2)	青野 淳一氏 (6/3)
	松木 徹夫氏 (6/4)	
	渡邊 道信氏 (6/4)	岡本 康利氏 (6/6)

[国際ホテル]